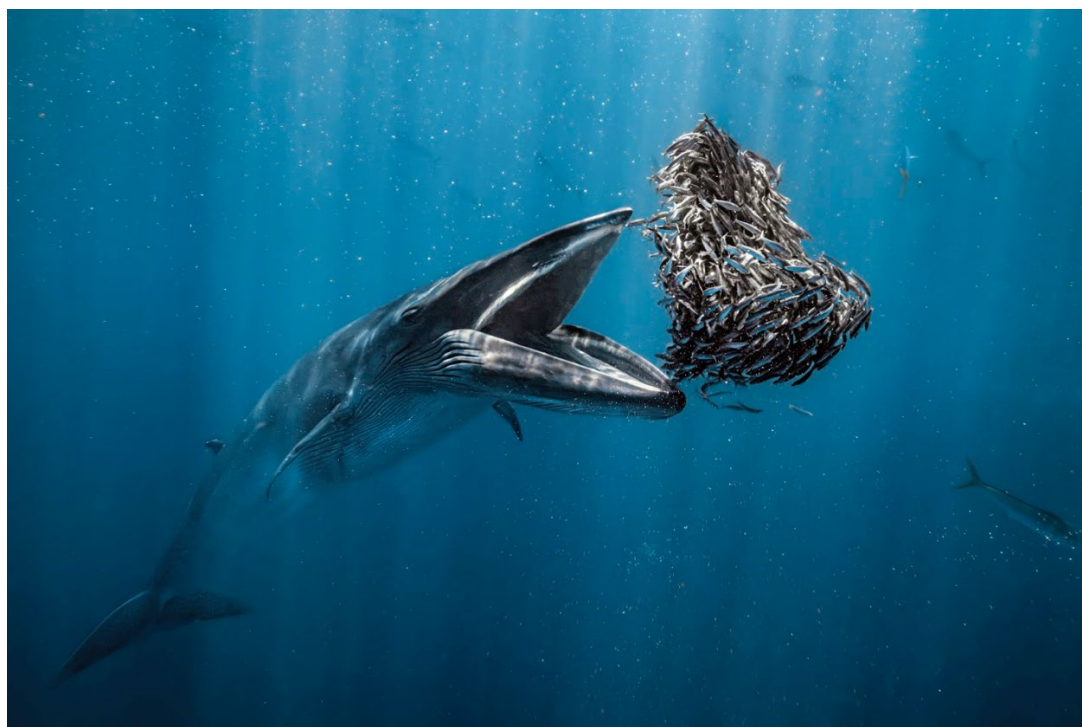


「オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー 2024」受賞者を発表

- ラファエル・フェルナンデス・カバイエロさんをオーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー 2024に選出
- 希少なニタリクジラがハート型のベイトボールを飲み込む瞬間をとらえた画像が審査員を魅了
- 世界中の一流海洋写真家から1万5千点以上の応募
- 沿岸、水中画像やドローン撮影画像が明らかにする海の驚異と、海が直面する数々の危機
- フィメール フィフティ ファズムス アワードはイパ・ウイド・リンさんが受賞



オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー 2024 受賞作品となったラファエル・フェルナンデス・カバイエロさん撮影のベイトボールを食べるニタリクジラ

ラファエル・フェルナンデス・カバイエロさんがオーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー (OPY) 2024に選出されました。

ベイトボールを食べるニタリクジラを捉えたカバイエロさんの作品は、水中、サーフィン、ドローン撮影を含む全部門1万5千点を越す海の画像から選ばれました。

受賞作について、カバイエロさんは次のように語りました。「この写真は、私の人生においておそらく最も特別で、最も素晴らしい瞬間を捉えたものです。この瞬間を経験できたこと、そしてそれを写真に収められたことに喜びを感じています。」

オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー
2024受賞については、次のようにコメントしました。「夢のようです。感激しています。今年度の最も優れた海洋写真の集大成の一つとなり、最高の評価を受けたことは、自分の仕事を信じ続け、海の素晴らしさを紹介し続ける原動力となります。」

今年の入賞作品には、空と海から食い荒らされるベイトボール、干潮時に岩の上に上がってきってしまったウナギ、獲物をくわえた虹色のシラなど、**野生動物同士のドラマチックな遭遇**や、非現実的なほど巨大な網を海から引き揚げる漁船員のほか、サンゴの養殖場を手入れする自然保護活動家とブルーホール奥深くへ向かうフリーダイバーなど**人間と海とのつながり**を示す美しい例、ビニール袋の中に身を潜めるタコ、屠殺のために陸に引き上げられるナガスクジラ、人工素材の巣が罟となって誤って首から吊るされたシロカツオドリなど、**私たちが海に与える影響を思い知らされる厳しい画像**がみられました。[すべての受賞作品、キャプション、クレジットはこちらからご覧いただけます。](#)

今年のフィメール フィフティ ファゾムス (FFF)
アワードを受賞したのは、マレーシアの写真家イパ・ウイド・リンさんです。フィメール
フィフティ ファゾムス アワードは、2021年、オーシャノグラフィック
マガジン (Oceanographic Magazine) とブランパンによって、海洋写真界の先駆的で限界を押し広げる女性たちを称えるために創設されました。他の部門とは異なり、この賞では同業者からの推薦を受けた写真家たちを、オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤーの審査員とマーク A. ハイエック社長兼CEOが率いるブランパンの代表団が審査します。



Ipah Uid Lynn - Female Fifty Fathoms Award

ウェブサイト：<https://www.blancpain.com/ja/> / プレス：<https://www.blancpain.com/ja/press-lounge>

リンさんは、ノミネートと優勝を振り返って次のように語りました。「フィメール
ファイブティ ファゾムス
アワードを受賞したことは、信じ難い栄誉であり、私が長年にわたって仕事に注いできた情熱と献身に対する認知です。夢のようであり、また、深い満足感があります。受賞は、私個人の功績にとどまらず、写真を通して物語を語ることの重要性や、この分野で活躍する女性たちの声に光を当てるものです。心から光栄に思い、自分がとらえた画像で皆さんと共有する撮影対象の限界を広げ続ける勇気を与えられました。」

[オーシャノグラフィックマガジン](#)と[ブランパン](#)が選ぶ[オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー](#)の使命は、地球の素晴らしさとはかなさに光を当て、その声を伝える写真家たちを称えるというシンプルなものです。本コンテストは、ブランパンの海洋保護への取り組みすべてを統合した[ブランパン オーシャン コミットメント](#)の要です。ブランパン オーシャン コミットメントは、海の美しさについての認識向上、生態系や水中現象に関する科学研究への支援、世界各地に海洋保護区を設けるなどの具体的な保護活動の実践という、互いにつながりのある3つの柱で構成されています。

「写真は海洋探査と保全の強力な味方です。オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤーの受賞者たちの芸術性だけでなく、海中の驚異をより多くの人々に伝える活動への貢献に対して拍手を送ります」と、ブランパン社長兼CEOのマーク A. ハイエックは結びました。

[オーシャン フォトグラファー オブ ザ イヤー 2024](#)
第1回展は、11月28日にシドニーのオーストラリア国立海洋博物館で開幕し、引き続き、2025年初頭から巡回展が開催されます。

編集者への注意事項

- すべての写真家のクレジットを記載してください
- [オーシャノグラフィック](#) および [ブランパン](#)（商業上の制約がある場合は[ブランパン オーシャン コミットメント](#)と記載）は、賞の共同代表者としてクレジットを記載してください
- デジタル記事にはオーシャンフォトグラファーオブザイヤーの[フォトギャラリー全体](#)へのリンクを含め、SNSへの投稿には[@opy_awards](#)とタグ付けしてください
- 画像掲載はOPY2024取材を目的とした場合のみに限定しています

印刷用の高解像度画像をご希望の場合は、info@ocean.photoまでメールでご連絡ください